

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス UNICO NEXT天神		公表日		2025年 4月 4日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・年齢差における利用児の過ごし方の希望に差があるため、部屋を分け対処しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて、部屋を分けて活動ができるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・運営MTGや支援の振り返りを月に1回実施し、全スタッフで業務改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者機関からの評価を受ける代わりに、本社職員を事業所に派遣して評価を行う内部監査制度を年2回実施しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月に1回程度、支援の質を向上させるための研修を実施しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各職員でアイデアを出したり児童からアイデアを出してもらったりして毎月会議を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週替わりでワークショップを実施し活動が固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日振り返りを必ず行なっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々、事実と見立て、次の支援を振り返りながら個々に応じた支援を実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・保護者からの情報や支援員の情報をもとに定期的な見直しの判断をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・行政より研修の案内がある場合は可能な限り参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・保育園等への直接の聞き取りは行っていないですが、保護者や相談支援事業所を経由して情報共有は常に行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・在学中より移行支援事業への体験同行や情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・学校で障がいの子どもと共に生活している児童が多いため、必要に応じて検討します。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々連絡帳にて相互に連絡を取り、情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・相談があれば都度対応していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・年に1回保護者会を開催して、保護者同士が交流する機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・簡潔に伝えることや視覚的に文字にしたり、写真にしたりして提示している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年に2回全員避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・食物アレルギーに関しての把握と対応は行っておりますが、医師の指示所に基づく対応に関しては現状行っておりません（そのような事例がありません）。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス UNICO NEXT天神			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62名	(回答者数)	39名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なワークショップを通して新たな経験を積むことができる	お子さまが主体的にワークショップに参加できるように工夫しています。自分で作るものを考えたり、選べたりするように視覚的に掲示したり、お子さまのアイデアを質問を通して引き出ししたりしています。	より主体的に取り組むことができるようにお子さまのやってみたいことを更に引き出す、コーチングをベースにした関わりの強化を図っていきます。
2	お子さま一人ひとりが自分で考えて行動できる関わり	・コーチングをベースにした関わり方でお子さまが自分で活動や方法を決めることができるようにしています。 ・月1回、個別面談を行い、自分のやりたいこと、挑戦したいことを引き出し、達成に向けての取り組み方を自己解決できるようにサポートしています。	職員間での毎日の振り返りや情報共有、研修などを通して、お子さまたちに応じた選択肢の更なる充実や支援力向上に努めてまいります。
3	社会的な自立のための外出支援や機会提供	・希望の外出先に行けるように計画・準備をお子さまが自分で決めることができるように支援しています。 ・高校や専門学校などのオープンキャンパスの参加へのサポートも行い将来の進路についても選択できるように多様な機会提供を行っています。	よりお子さまにあった機会提供ができるように、職員間で子どもの情報や考えを共有し、発達段階に合わせた支援を行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	社会に触れたり関わったりする機会提供	事業所内での取り組みとして自立に向けての外出の際に社会のマナーや仕組みについて学ぶ機会は設けていましたが、今後の選択肢につながるような機会提供ができていませんでした。	将来のイメージや選択肢のきっかけつながる、社会見学・体験を活動に取り入れていきます。
2	保護者さまに対しての目標に沿った日々の支援説明	日々の支援の内容は連絡帳により共有させていただいておりましたが、保護者さまに対してわかりやすい支援の説明ができておりませんでした。	目標に沿って見立てを含めた支援の内容を共有させていただきます。

3	保護者さまに対して納得していただける個別支援計画の説明	個別支援計画書では専門的な用語ではなく、保護者さまがご理解いただけるような表現・用語を使用しておりましたが、説明の際にわかりやすくお伝えできていないことがありました。	個別支援計画説明の際に支援内容をよりイメージできるように具体的な説明を行なってまいります。
---	-----------------------------	---	---